

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年2月18日
中国運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
江田島市公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状整理(交通の現状や既存計画の振り返り) ・ニーズ・課題の整理(ヒアリング・アンケート結果の整理) ・地域に適した交通の検討 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・交通事業者や市民へのヒアリング結果により、交通事業者の経営状況や航路とバスの接続改善など市民の移動ニーズを把握することができた。 ・持続可能な公共交通サービスを実現するため、次期計画期間中の事業案を検討し、協議会に諮るための計画(たたき台)を作成。 ・今後の協議会の検討を経て、江田島市地域公共交通計画をとりまとめる。 	A	<p>【便利で持続可能な地域公共交通網の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活航路や路線バス及びおれんじ号等に対する補助を行いつつ、航路網の将来イメージに関する事業者との協議や移動ニーズを踏まえたバス路線網の見直しを行うことにより、持続可能な地域公共交通網の形成を図る。 <p>【わかりやすく魅力的なサービス提供と利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい情報提供と利用促進を行いながら、新たな需要の掘り起こしを行う。 <p>【地域公共交通を守り、育てる意識の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モビリティ・マネジメントを行いながら、市民とともに守り育てる地域公共交通を目指す。 	<p>次期地域公共交通計画の策定に向けた調査として、地域公共交通の現状と課題について整理できていることについて評価できます。</p> <p>持続可能な公共交通体網が形成されるとともに、わかりやすい情報提供や利用促進、モビリティマネジメントを通じた地域公共交通を守り、育てる意識の醸成に資する地域公共交通計画を策定することを期待します。</p>	
広島市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や市内企業に対するアンケート調査 ・公共交通の利用実態等の整理 ・地域公共交通計画の評価指標の検討 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なデータの整理などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・市民や市内企業へのアンケート調査により、新型コロナウイルスが与えた影響や終息後の公共交通の利用意向などを把握することができた。 ・地域公共交通計画に位置付ける機能強化策の整理や評価指標の検討を行い、計画案を作成した。 ・今後、法定協議会の議論を経て、地域公共交通計画として取りまとめる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも、公共交通を軸とした集約型都市構造の実現に向けて、基幹公共交通などからなる階層性のある公共交通ネットワークの形成に取り組んできたところであり、今後は、輸送需要の減少などの公共交通が直面する危機的な状況を乗り越えるため、新たな課題への対応についても強く意識し、効率的で持続可能性の高い公共交通ネットワークの形成を進めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・各ネットワークの役割に応じたサービスの提供や、円滑な乗継のための交通結節機能の強化を図るとともに、ソフト面においても利用者の移動ニーズに応えられるサービスを提供し、高齢者や外国から来訪者を含むすべての「利用者にとってわかりやすく使いやすい持続可能な公共交通体系」の構築を目指す。 	<p>次期地域公共交通計画の策定に向けた調査として、新型コロナウイルスの影響も含めた状況整理や利用意向把握を行われ、計画案の作成に活用できていることについて評価できます。</p> <p>引き続き、効率的で持続可能性の高い公共交通ネットワークの形成が図られるとともに、利用者にとってわかりやすく使いやすい持続可能な公共交通体系の構築に資する地域公共交通計画を策定することを期待します。</p>	
安来市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における交通の現状と課題整理 ・住民のOD調査、移動需要調査 ・地域に適した交通を検討するための指針策定 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なデータの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・地域へのアンケートにより、住民の時間帯別、場所別の移動需要を把握することができた。 ・今後の協議会の検討を経て、安来市地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。 	A	<p>安来市内の公共交通の状況を整理し、公共交通の利便性確保と持続可能な体系を構築することに主眼をおいて、新たな交通手法の設定を検討する。なお、令和4年度に交通手法の協議及び地元説明を行った後に事業実施を想定している。</p>	<p>地域公共交通計画の策定に向けた調査として、地域公共交通の現状と課題について整理できていることについて評価できます。</p> <p>公共交通の利便性確保と持続可能な公共交通体系の構築に資する地域公共交通計画を策定し、活性化再生法の基本方針を踏まえた新たな交通手法を導入することを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
倉敷市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の現状把握(ICカードデータ、バスロケーションデータの分析) 上位計画・関連計画の整理 問題点・課題の整理 基本方針の検討(基本方針、基本目標、施策の方向性及び目標値) 事業の検討 倉敷市地域公共交通計画(素案)の取りまとめ 地域公共交通会議 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響により、新計画の策定にあたり、「交通事業者の状況」、「公共交通に関する市民の意向」など、公共交通の現状について、多方面から綿密に把握するため、令和3年度は、現状把握、問題点・課題等の整理、現状と課題の取りまとめを行う計画に変更した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、公共交通利用者が減少し、交通事業者における、輸送収入、資金繰りが厳しい状況等を踏まえて、問題点・課題等を整理する。 後期高齢者等、交通弱者の状況を踏まえて、問題点・課題等を整理する。 市民アンケート結果より、現在、公共交通を利用している方へは、現在の公共交通に対する満足度や今後の継続利用意向、必要だと思う改善内容等を把握し、今後も継続的に利用していただくためにクリアすべき課題を明らかにする。 現在、公共交通を利用していない方へは、「なぜ利用しないのか(できないのか)」、「どうすれば利用していただけるか」等を把握し、今後、新たに公共交通を利用していただくために、どのような取り組みが必要かを明らかにする。 これらの検討結果より、今後、問題点・課題等の整理、現状と課題の取りまとめを行う。 令和4年度は、今年度の検討結果を踏まえて、基本方針、事業等の検討を行う。 令和4年度の11月上旬に素案を作成し、12月中旬からパブリックコメントを実施し、令和5年3月に計画策定する予定。 玉島地域のバス路線の一部について、運行事業者から運行継続が困難との申し出を受け、「地域旅客運送サービス継続事業」を計画に位置づけることについて検討中。 	<p>次期地域公共交通計画素案の取りまとめをするという目標は未達成であるが、コロナ禍の影響を踏まえた現状把握、問題点・課題等の整理を行い、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた利用促進の検討を行っていることについて評価できます。</p> <p>本調査結果を活用し、持続可能な公共交通ネットワークの構築に資する地域公共交通計画を策定するとともに、地域の実態に即した地域旅客運送サービス継続計画の検討を行うことを期待します。</p>	
宇部市公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の現状整理 公共交通の課題の把握 基本方針、目標、目標を達成するために行う施策の検討 計画のとりまとめ 協議会の運営 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎的データの整理、現況調査、ヒアリングなどにより、地域の公共交通の現状を整理した。 公共交通協議会に諮るための資料を作成した。 公共交通協議会の協議等を経て、課題、基本方針、目標、施策を整理した。 宇部市地域公共交通計画(素案)を作成後、パブリックコメント、公共交通協議会での協議等を経て、宇部市地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通利用者数の確保のため、新技術や新たなサービスも活用して、利便性の向上と利用促進の充実を図るとともに、公共交通により地域の価値向上を目指す。 高齢者等の移動手段の確保のため、地域内交通の充実させる。 安心・安全な運送サービスの提供のため、交通事業者の事業体制の健全化と運転士等の人員確保に努める。 	<p>次期地域公共交通計画の策定に向けた調査として、地域公共交通に関する現状と新たな課題について整理するとともに、新技術や新たな輸送サービスの活用を検討していることについて評価できます。</p> <p>新技術や新たな輸送サービスの導入による地域の価値向上、地域内交通の充実、交通事業者の健全化、運転士等の人員確保に資する地域公共交通計画を策定することを期待します。</p>	
光市地域公共交通協議会	<p>【アンケート調査関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民、近隣高校事務局へのアンケート調査により、移動の実態や公共交通サービスへのニーズを把握した。 <p>【乗合バスに関する乗降調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間バス事業者及び光市営バスの利用実態について把握した。 <p>【ヒアリング調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事業者へのヒアリングにより、現状の認識と将来的な見込について把握した。 広域バス路線の関係市町へのヒアリングにより、現状路線への維持継続に係る意向を把握した。 	A	<p>実施した調査事業から課題を整理し、光市地域公共交通計画のポイントとなる基本方針において将来像と目標を設定しており、令和4年2月の最終案協議を経て、令和4年3月の策定を見込んでいる。</p>	<p>次期地域公共交通計画の策定に向けた調査として、各種調査により地域公共交通の現状及びニーズの把握を行っている点について評価できます。</p> <p>本調査結果を活用し、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークの構築に資する地域公共交通計画を策定することを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
出雲市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の概況整理 関連計画等の整理 基礎データの収集、整理 現状分析・課題の整理 公共交通利用者の現状把握及びニーズ把握 交通事業者、その他団体へのヒアリング調査 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎データを収集し、地域の公共交通の状況を整理した。 交通事業者へヒアリングを行い、交通事業者の状況、利用者の実態を把握した。 市の関係課へヒアリングを行い、移送の現状を把握した。 市民ニーズを把握するため、市民アンケートを実施する。 調査結果を基に、協議会及びワーキング部会において課題の抽出を行う。 	A	令和3年度は計画策定のための調査事業を実施し、課題の抽出を行う。 令和4年度に出雲市地域公共交通計画を策定する。	<p>地域公共交通計画の策定に向けた調査として、地域公共交通の現状と課題について整理できている点について評価できます。</p> <p>本調査結果を活用し、活性化再生法の基本方針に沿って地域の公共交通の課題解決に資する地域公共交通計画を策定することを期待します。</p>	
三江線沿線地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替交通沿線住民アンケート調査 代替交通を利用していない人も含めた沿線地域の住民を対象に、代替交通の評価や利用状況、利用しない理由などについて把握。 関係機関ヒアリング調査 代替交通を利用し通学する生徒がいる学校への実態調査や代替交通の観光利用の可能性について、自治体の観光部局へヒアリング調査を実施。 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線住民へのアンケート調査、関係機関へのヒアリングを実施した。 今後、アンケート調査の分析、関係機関へのヒアリング結果をとりまとめる。 	A	調査事業の結果を活かし、代替交通の利便性の向上や利用者負担の軽減、利用促進を図りながら、通勤・通学・通院・買い物等の移動手段として、地域の実情にあった代替交通を継続的に確保していく。	<p>次期地域公共交通計画の策定に向けた調査として、アンケート調査及びヒアリング調査の実施により三江線廃線後の代替交通について、現状及び課題の把握を行っている点について評価できます。</p> <p>本調査結果を活用し、次期地域公共交通計画の検討を行う中でより地域の実情にあった利用される代替交通の確保がなされることを期待します。</p>	